

特別展・企画展

企画展 れきはく交流展「いにしえのおおいた」

→ 5月10日(日)

弥生時代から古墳時代の
おおいたの様相を国
指定重要文化財大分県
吹上遺跡出土品(日田
市教育委員会蔵)と国
指定重要文化財大分県
免ヶ平古墳出土品(大
分県立歴史博物館蔵)
を中心に紹介します。



免ヶ平古墳出土斜縁二神獣鏡(当館蔵)▶

企画展 青銅の燦めき -京博所蔵の銅剣・銅矛里帰り展-

6月30日(火)
→ 9月13日(日)

弥生時代にマツリの道具として珍
重された青銅器は、本来金色に燦
めき、見る人々を魅了していました。
今回、京都国立博物館が所蔵する
弥生時代の銅剣や銅矛がおおよそ
40年ぶりに里帰ります。あわせて、
大分県内で出土した弥生時代の
青銅器や青銅の本来の色を紹介し、
その魅力にせまります。

(令和2年度京都国立博物館考古資料
相互活用促進事業による公開)

浜遺跡出土銅剣(京都国立博物館蔵)▶
写真:京都国立博物館提供



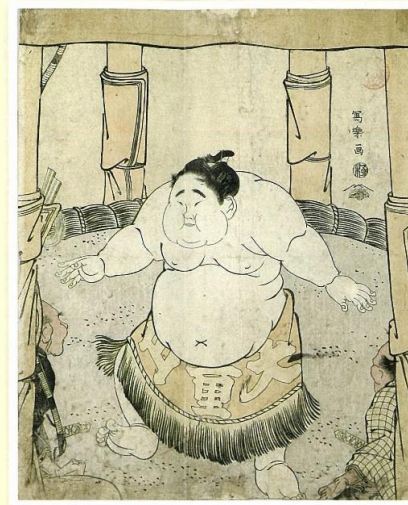
【特別展】 大相撲力士群像

-相撲の歴史と時代のヒーローたち-

10月16日(金) → 11月29日(日)

宇佐神宮「放生会」の起源とされる「隼人の乱」から
1300年とされる節目の年に合わせ、「放生会」で行
われる神事としての相撲に注目し、神事相撲から現
代まで続く相撲の歴史の変遷やその時代を彩った
名力士の関連資料を一堂に集め、展示します。古文
書や番付・錦絵・絵画等の資料をはじめ、名力士が
使用した化粧廻しや刀・衣装等に至るまで、貴重な
資料より相撲の歴史の深さや面白さ、また相撲文化
の美しさに迫っていきます。

大童山文五郎一人土俵入りの図(相撲博物館蔵)▶



休館情報
11月30日(月)〜12月7日(月)および1月18日(月)〜1月22日(金)に
ついでには、プロジェクションマッピング機種の設置・調整のため、休館します。
宇佐風土記の丘史跡公園は、博物館休館中も自由に散策が可能です。

企画展 祈 i-no-ri と 願 ne-ga-i

~プロジェクションマッピングで迫る
富貴寺と熊野磨崖仏の時代~

2月2日(火) → 4月11日(日)

プロジェクションマッピングの運用開始にあわせ、富貴寺と熊野磨
崖仏の関連資料やそれらを取りまく時代背景などを紹介します。



▲富貴寺内陣長押文様(復元)

豊の国・大分の歴史と文化再発見!! 平常展では、人々のくらしと祈りを中心テーマとして、最新の研究成果や、タイムリーなテーマ展示等により、文化財の新たな魅力を紹介します。

平常展

生死いのり

先史時代から古
墳時代の人々の
くらしの様子を、生
・死・いのりという
キーワードにより
紹介します。



国指定重要文化財
大分県免ヶ平古墳出土品▶

豊の古代仏教文化

19ヵ寺もの古代
寺院が建立され
た豊の地域の仏
教文化を紹介し、
やがて登場する
八幡信仰の下
地となる信仰風
土を探ります。



宇佐八幡の文化

国家神とし
て崇拝を集
め、永く広
範な人々に
信仰された
八幡神の
歴史を紹
介します。



六郷山の文化

国東半島に花開
いた独特の仏教
文化について、
仏像や石造物な
どのさまざまな
文化財を通し、
その成
立と展開を紹
介します。



富貴寺大堂の世界

国宝富貴寺大堂の
阿彌陀堂建築や壁画
など、六郷山寺院の
中でも特異な富貴寺
の世界を紹介します。

阿彌陀浄土壁画復元▶



広がる仏教文化

大分県が全国
に誇る磨崖仏
や石塔などの
石造文化財を
中心に、平安
時代以降の仏
教文化を浮き
彫りにします。



信仰とくらし

さまざまな神仏へのいのりと、人々のくらしの様子
を各種の信仰用具や民具を通して紹介します。



講座等

歴史文化講座(前期:6月/後期:1月~2月)

セタコンサート 7月4日(土)

夏休みこども歴史教室 7月31日(金)